

ほのめ人

194 消えた!



今月の表紙

夏だ! 暑いぞ! プールは最高!

毎年のように、『今年は猛暑です。』と言われており、室内で過ごす機会が多くなりがちですが、子どもたちにはそんなこと関係ないようですね。

『大崎の夏』を満喫しているようです。

滝摩郷句

兼題「こらのさん」(冠付け)

こらのさん法螺吹婆が隣に来つ

(唱) めだかが終めな 鯨れなつちよつ

満石江吟

こらのさん田植機が田い座い込つ

(唱) 田植機迄も 熱中症じやるか

二見愚楽満

こらのさんまた赤児が懐妊つ産の看病

(唱) そろそろ打つ止め しつくれち母

諸木美舟

こらのさん煩ろしゆ返事すば催促つ女房

(唱) 耳な日曜ち 亭主な逃げ出つ

西ノ園ひらり

こらのさん大息子をば仰向つ叱つ

(唱) 上かい見下れつ 笑つ聞きちよつ

植村昭子

大崎短歌会

兼題「七夕」

小さき子の大きな願いそれぞれに保育園での七夕かざり

上南紀子

この足もねぶた踊りしこともありラッセララッセラー見知らぬ人と

餘利野静子

七夕の一番星に捧げます老いてますます募る想ひを

大和てるみ

七夕の笹の葉さらさら唱ひつつ願ひを書きし子等も停年

中崎ハナエ

あの空の星のひとつとなりし娘よ今宵会へしか相違ふ星に

原田葉子

大崎俳句会

爽かや走る人らに会う朝

桑田正樹

母の忌や庭の紫陽花咲きこぼれ

町田ヤス

雨の日のアイロン掛けや更衣

内田ちどり

肩当てを採す朝なり梅雨寒く

三浦倫子

雨しづくそこだけ明し白木樅

中崎ハナエ

夫の忌や寺のみちみち梅雨の蝶

春田昌子

倉敷の白壁映ゆる蛇の目傘

二見淑

人権啓発シリーズ

犯罪被害者等の人権

施策の方向性

- ① 犯罪被害者やその家族が安心して暮らすことができるよう、警察など関係機関・団体が連携して犯罪被害者等の相談・支援体制の充実に努めます。
- ② 住民一人ひとりが犯罪被害者等の人権に配慮した社会の実現をめざし、犯罪被害者等への理解を深めるための教育・啓発の推進に努めます。